

科目名 (英文表記)	<b>アカウンティング I (財務会計)</b> <b>( Accounting I )</b>		
科目区分	基本科目	単位数	2 単位
担当教員名	堺 昌彦	ナンバリング	MBA_B_AC 5111
研究室番号	4 4 4	研究室電話番号	2 7 - 5 3 5 2
Eメール・アドレス	msakai@res.otaru-uc.ac.jp		
<b>授業の内容及び方法：</b> 次頁以降に記載			
<b>授業の目的：</b> 本授業では、財務諸表を読解・分析にするにあたって必要となる会計の基礎知識を学びます。企業の経済活動は、複式簿記を通じて記録され、それらの記録が加工されさまざまな形態の会計情報として情報利用者に提供されます。本授業では、これらの会計情報がどのような意味を持ち、どのようなことが読み取れるのかについて基本的な知識を習得します。			
<b>到達目標：</b> 本授業の到達目標は以下の通りです。 (1) 財務諸表を読解し分析するにあたって必要な会計情報の意義と特徴を理解すること。 (2) 財務諸表の体系と意義を理解し、財務諸表を読解する基本的な力を身に付けること。 (3) 財務データを用いて企業を分析する基本的な枠組みと財務指標を理解すること。			
<b>使用教材：</b> 本授業での基本的な参考文献としては、共通テキスト (小樽商科大学ビジネススクール編『MBAのための財務会計(三訂版)』同文館出版) を指定します。また、その他の資料、課題等を適宜配布します。			
<b>成績評価の方法：</b> 授業への出席 (10%)、事前・事後の提出課題 (30%)、授業で行うディスカッションへの参加 (20%)、および授業を通して行う 3 回の確認テスト (40%) を総合的に判断して評価を決定します。 評価に不服のある場合には、不服申請書を以って、教務委員長に申し出てください。			
<b>履修上の注意事項：</b> 本科目の授業開始に先立って、簿記の知識を殆ど有してない受講生のために (希望者のみを対象にして)、プレ科目「企業会計の基礎」を札幌サテライトにて実施します。実施の詳細については、別途お知らせします。			

## 授業の内容及び方法

<b>モジュール 1</b> 企業会計の概要と複式簿記（テキスト第1章、第3章）	
<b>事前準備</b>	テキストの指定部分を通読し、企業会計がどのようなものか、および複式簿記における記録の仕方について自分なりの理解に努めた上で、指示された事前課題の解答レポートを作成して授業にのぞんでください。
<b>第 1 時限</b>	企業会計の概要（第1章、第3章）
	企業会計がどのようなものかについて概要を理解する。 本授業における学習目標の意義について理解する。
<b>第 2 時限</b>	複式簿記の構造と記帳手続（第3章）
	複式簿記の基本的な構造と記録の仕方について理解する。 複式簿記による記録から会計情報が作成されるプロセスの概要を理解する。
<b>復 習</b>	指示された課題について、解答レポートを事後課題として提出。

<b>モジュール 2</b> 基本財務諸表 I（第3章、第4章、第5章）	
<b>事前準備</b>	テキストの指定部分を通読して、決算手続の手順、貸借対照表と損益計算書の役割について自分なりの理解に努めた上で、指示された事前課題の解答レポートを作成して授業にのぞんでください。
<b>第 3 時限</b>	決算手続と財務諸表（第3章）
	決算手続のプロセスを理解する。 貸借対照表と損益計算書の関係について理解する。 財務諸表の体系について理解する。
<b>第 4 時限</b>	貸借対照表と損益計算書 I（第4章、第5章）
	貸借対照表の基本的構造とその役割を理解する。 損益計算書の基本的構造とその役割を理解する。
<b>復 習</b>	指示された課題について、解答レポートを事後課題として提出。

<b>モジュール 3</b> 会計制度と会計情報の利用者（第1章、第2章、第11章）	
<b>事前準備</b>	テキストの指定部分を通読して、会計制度、および会計情報の利用者について、自分なりの理解に努めた上で、指示された事前課題の解答レポートを作成して授業にのぞんでください。
<b>第 5 時 限</b>	確認テスト
前 4 回の授業で取り上げた内容についての理解を確認するためのテストを実施する。解答と解説を行う。	
<b>第 6 時 限</b>	会計制度と会計情報の利用者（第1章、第2章、第11章）
会計情報のさまざまな利用者について理解する。 制度としての企業会計がどのようなものかについて理解する。	
<b>復 習</b>	指示された課題について、解答レポートを事後課題として提出。

<b>モジュール 4</b> 基本財務諸表Ⅱ（第4章、第5章）	
<b>事前準備</b>	テキストの指定部分を通読し、貸借対照表、損益計算書について自分なりの理解に努めた上で、指示された事前課題の解答レポートを作成して授業にのぞんでください。
<b>第 7 時 限</b>	貸借対照表と損益計算書Ⅱ（第4章、第5章）
貸借対照表と損益計算書の主要項目について理解する。 財務諸表の主要項目間の関係を理解する。	
<b>第 8 時 限</b>	貸借対照表と損益計算書Ⅲ（第4章、第5章）
貸借対照表と損益計算書の主要項目について理解する。 財務諸表の主要項目間の関係を理解する。	
<b>復 習</b>	授業で配布された課題について、解答レポートを事後課題として提出。

<b>モジュール 5</b> 企業集団の会計（第6章、第8章）	
<b>事前準備</b>	テキストの指定部分を通読し、連結経営、および連結財務諸表について、自分なりの理解に努めた上で、指示された事前課題の解答レポートを作成して授業にのぞんでください。
<b>第 9 時 限</b>	企業集団と連結財務諸表（第8章）
	企業集団の範囲について理解する。 連結財務諸表の概要について理解する。
<b>第 10 時 限</b>	連結財務諸表における会計情報（第6章、第8章）
	連結財務諸表に特有の項目について理解する。 連結財務諸表におけるセグメント情報について理解する。 キャッシュフロー情報について理解する。
<b>復 習</b>	授業で配布された課題について、解答レポートを事後課題として提出。

<b>モジュール 6</b> 企業分析と会計情報の活用 I（第9章）	
<b>事前準備</b>	テキストの指定部分を通読し、財務諸表分析について、自分なりの理解に努めた上で、指示された事前課題の解答レポートを作成して授業にのぞんでください。
<b>第 11 時 限</b>	確認テスト
	前 5 回の授業で取り上げた内容についての理解を確認するためのテストを実施する。 解答と解説を行う。
<b>第 12 時 限</b>	財務諸表分析のフレームワーク I（第9章）
	財務諸表分析の意義と基本的な枠組みを理解する。
<b>復 習</b>	指示された課題について、解答レポートを事後課題として提出。

<b>モジュール 7</b> 企業分析と会計情報の活用 II (第9章、第10章)	
<b>事前準備</b>	事前に配布されたケースをもとに、指示された事前課題の解答レポートを作成して授業にのぞんでください。
<b>第13時限</b>	財務諸表分析のフレームワーク II (第9章)
	事前に配布されたケースをもとに財務諸表分析を行う。 上記分析に基づいたディスカッションを行い、財務諸表分析についてより深く理解する。
<b>第14時限</b>	財務諸表分析のフレームワーク III (第9章、第10章)
	財務諸表分析を応用する方法と局面について理解する。
<b>復習</b>	指示された課題について、解答レポートを事後課題として提出。

<b>モジュール 8</b> 総復習	
<b>事前準備</b>	これまでの授業の内容について復習を行った上で授業にのぞんでください。
<b>第15時限</b>	確認テスト
	これまでの授業で取り上げた内容についての理解を確認するためのテストを実施する。 解答と解説を行い、総復習としてディスカッションを行う。
<b>復習</b>	授業全体について、理解が不十分な点、質問、意見をレポートとして提出。